



つくば市在宅医療・介護連携推進事業

平成 29 年度第 1 回多職種連携のための意見交換会 開催のお知らせ

<項目> (あてはまるものすべてにチェック)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> イベント・会議等の事前周知依頼 | <input checked="" type="checkbox"/> イベント・会議等の取材依頼 |
| <input type="checkbox"/> イベント会議以外の事業の周知依頼 | <input type="checkbox"/> 参加者募集の告知依頼 |
| <input type="checkbox"/> その他 () | 全 2 枚(本紙含む)む |

<概要>

つくば市では、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、多職種（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・社会福祉士・介護支援専門員等）の連携を推進しており、平成 28 年度から「多職種のための意見交換会」を継続的に開催しています。

●日時：平成 29 年 8 月 25 日(金)
18：30～20：55(受付 18：00～)

●場所：つくば市役所本庁舎 会議室 201

●内容

【講演】「在宅医療の現場から見える、
これからの地域包括ケアシステムについて」

講師：筑波大学 医学医療系 講師 浜野 淳 氏



【グループワーク】「地域で看取るには専門職はどのような連携が必要か」

●対象：つくば市民にかかわる医療と介護の専門職 定員：150 名 参加費：無料

●関連 Web ページや検索キーワード

地域包括支援課のホームページに記載

検索キーワード「つくば市意見交換会」「つくば市多職種連携」「つくば市在宅医療」

●添付資料は、募集時に多職種に配布した案内で、参考資料となります。

つくば市在宅医療・介護連携推進事業

平成 29 年度 第 1 回多職種連携のための意見交換会

地域主体の地域包括ケアシステムとは

高齢者も家族も地域住民も誰もが安心して暮らし続ける地域とはどんな地域だと考えますか？
これからの医療と介護を取り巻く現状として、少子高齢化に伴い医療・介護ニーズが増大する一方、その支え手は減少が見込まれています。

つくば市の多職種がつくば市のあるべき地域包括ケアシステムについて考え、地域主体の地域包括ケアシステムを実現させるため課題を我が事と捉え、共有し、協議します。

講師

筑波大学 医学医療系 講師 **浜野 淳氏**

筑波大学附属病院 医療連携患者相談センター



日時

平成 29 年 8 月 25 日 (金)

18 : 30 ~ 20 : 55 (受付 : 18 : 00 ~)

内容

- ◆ 講演「在宅医療の現場から見える、
これからの地域包括ケアシステムについて」
- ◆ グループワーク「地域で看取るには
専門職はどのような連携が必要か」

会場

つくば市役所本庁舎 会議室 201

つくば市研究学園一丁目 1 番地 1 TEL 029-883-1111

対象

つくば市民にかかわる医療と介護の専門職

(市内事業所・機関等にご勤務の方が優先です)

定員 : **150 名** (先着順) 参加費 : 無料

* 1 事業所で複数名参加希望の場合、人数を調整させていただく場合もございます。

申込

申込書 (裏面) に記入し、FAX 送信ください。

申込締切 **平成 29 年 8 月 18 日 (金)**

当日各事業所の PR コーナーを設けますので、パンフレット・名刺等がございましたら是非ご持参ください。

主催 : つくば市 後援 : つくば市医師会, つくば市歯科医師会, つくば薬剤師会

平成 29 年度第 1 回多職種連携のための意見交換会 参加申込書

送信先：つくば市地域包括支援課 宛
FAX：029-868-7638

定員 150 名（先着順）より多くの多職種の皆様の御参加をお待ちしております

氏名・資格 *ふりがなの記入も お願いします	つくば たろう 例) 筑波 太郎	例) 介護支援専門員	備考
所属機関名			
電話番号			
FAX 番号			
ご質問, ご希望が ありましたら, ご記入ください。			

大変お手数をおかけいたしますが、準備の都合上、

8月18日（金）までにご連絡をいただきますよう、お願い申し上げます。

連絡先：つくば市地域包括支援課 ☎ 029-883-1111(内線 1246)